



第13回 西部地区産業祭

12月1日、昭和小学校グラウンド・体育館において、第13回西部地区産業祭を開催しました。

当日は、陽の光も射す穏やかな天候のもと、農林産物などの展示、お楽しみ抽選会、もち投げのほか、地域団体による飲食店、大正・十和地域の名産である原木しいたけを使った試食料理も賑わわれ、多くの人で賑わいました。



▲もち投げ



▲飲食店



▲協力隊コーナー
(椎茸を使ったスープの試食)



▲農相議員会チャリティーバザー



▲ジャンボカボチャ重量当てクイズ



▲農林水産物品評会展示

今回の農林水産物品評会には、野菜類などの農産物部門117点、木炭・椎茸などの林産物部門16点の合計133点の出品があり、最優秀賞2点、優秀賞3点、入賞3点が選ばれました。

最優秀賞には、農産物部門で芝岩雄さん(十川)の柚子、林産物部門で芝久志さん(戸川)の木炭が、いずれも審査員より最も高い評価を得て、受賞されました。

また、上山チドリさん(井崎)の制作したカゴも高く評価され、審査員特別賞を受賞されました。恒例のジャンボカボチャコンテストにも35点の出品があり、1位は林久志さん(古城)の47.1kgのカボチャでした。



最優秀賞

農産物部門
芝岩雄さん(十川)



最優秀賞

林産物部門
芝久志さん(戸川)



審査員特別賞

上山チドリさん
(井崎)



▲ジャンボカボチャ 1位
林久志さん(古城)



今月の ものづくりと楽しい 空間づくりに関わりたい!



谷脇 由紀さん
(古市町)

今回は、NPO法人「LIFE」の職員として新しく加わった谷脇由紀さんをご紹介します。

先月号の橋本さんもそうでしたが、谷脇さんの紆余曲折もなかなか凄いです!

川川中学校、須崎高校と進んだ谷脇さんは、高校生の頃からお気に入りのブランドがあったほどのファッション好き。高校卒業時には、お洋服の「デザイナー」になるか、制作者になるか「少し迷いましたが「制作する方が向いている」と思い、大阪成蹊女子短期大学・家政科被服コース(当時)に進学しました。在学中、大阪市内にある有名なインディーズブランド「ズブランド」で働けることに

なり、卒業後もそのままそのショップでがんばりました。しかし、約3年が経とうとしていた頃、高知に帰ることを考えたね」と谷脇さん。まずは高知市内まで帰ってきた谷脇さんは、なんとゲームセンターに就職。その頃は「アミューズメントのところで働きたい」と思っていたのだそうです。今までの企画を次々と提案し、新しい「アミューズメント空間づくりに取り組んでい

ました。残念なことにお店が閉鎖されることになり、今度はイオン高知の中にある陶器屋さんで働き始めました。そして29歳の時に、結婚出産を機に帰郷。窪川に帰ってきた谷脇さんは、JA四万十で1年間臨時職員として働いた後に正職員となり、広報などの仕事で活躍。JA職員として働く傍ら、ボランティアとして「四万十手仕事市」に関わっていました。「洋服作りが好きだったように、やっぱり、ものづくりに関わりたい」という本能的なものがあつたんでしょね(笑)それと、人と人、モノとモノ、心と心をつなぐという四万十手仕事市のコンセプトに共感しました。手仕事市も初期の頃から比べると、すごくジャンルも増えましたよ!」

9年間勤務したのち、JAの合併を機に退職し、LIFEの職員となりました。「今は、半平に来たことがない町民にどうやって来ていただくかを考えています」

紆余曲折を経ながらも、ものづくりへの思いと、楽しい空間づくりに関わりたいという変わらない谷脇さんです。

謹んで新年のご挨拶を申し上げます。町民の皆さまには、清々しく新春をお迎えのこと、心からお慶びを申し上げます。今年のご挨拶は、「子」となっております。今年、東京で第2回目のオリンピックが開催され日本にとって大きな節目となりますが、千支も再び新しい十二支、運気のサイクルがスタートする年でもあります。植物に例えると、成長に向かって種子が膨らみ始める時期であり、未来への大きな可能性を感じさせます。また、ねずみは「ねずみ算」という言葉があるように、子どもをどんな生んで数を増やしていくことから、子孫繁栄の象徴でもあります。本町におきましても、少子化の進行が顕著となっておりますが、今年は一層、次代を担う多くの子どもたちがこの町に生まれ、そして健康やかに育つことを願うものでございます。また、町民の皆さまには、この子年にあやかり、しっかりと充実した仕事や事業、生活を送られることをご祈念申し上げますとともに、幸多き一年になりますよう願うものです。四万十町は、あちこちに好循環なまちづくりの兆しも生まれています。子年を新たな地方創生の出発点として、活力あふれるまちづくりを力強く推進してまいりますので、町民の皆さまの一層のご支援・ご協力をお願い申し上げます。改めまして、本年も皆さまにとりまして、幸多き年となりますよう心よりご祈念申し上げます。令和二年 元旦

四万十町長

謹んで新年のご挨拶を申し上げます。新天皇のご即位により元号が平成から令和となりました。四万十町議会も新しい時代の中で、町民の皆さまのご理解をいただき、これまで以上に活発な議会活動を行わなくてはならないとの思いを新たにしております。執行部が提案する予算や議案など、四万十町の方向性について十分に議論を重ね、チェック機能としての機能を果たし、町民の皆さまの福祉の向上と四万十町の発展のため全力で取り組んでまいります。今、四万十町の大きな政策課題として、大型風力発電の建設計画と、新しい図書館を含む文化的施設の建設問題があります。いずれも四万十町民にとりまして生活に直結する重大な課題であり、将来に禍根を残さない判断が重要であると考えます。議会としてもより多くの情報を町民の皆さまと共有し、慎重に調査・検討を行いたいと思っております。本年も皆さまが健康で健やかに過ごされます事を祈念し、新年のご挨拶いたします。令和二年 元旦

四万十町議会議長

